

◆2016 春闘 アンケート集約と家計調査の特徴点◆

印刷出版フォーラム 62 号 (2016 年版) を参照してください

(1) U30 アンケート※()内は前年

- ・仕事の満足度では、「満足」「まあまあ満足」の合計が 65.8 (63.5) %。職場で気になっていることは、「賃金が安い 62.0 (72.1) %、人手が足りない 40.4 (44.7) %」が、前回調査より減っているものの上位。
- ・どんな職場で働きたいですかでは、「人間関係がよい」49.8 (44.3) %、「賃金が高い」48.8 (54.0) %。
- ・現在の日本の政治や社会について、「不満」44.5 (50.0) %が前回より減っているもののトップ。
- ・日常たよりにしている人は、「友人・恋人」64.8 (59.8) %、「職場の先輩」62.4 (57.4) %、「母親」61.3 (58.6) %。
- ・組合に期待することは、「組合に相談しやすい環境づくり」43.6 (38.5) %、「組合の文章や話を分かりやすく」33.1 (33.6) %となっています。

(2) 要求アンケート※()内は前年

- ・生活実感は、「かなり苦しい」21.6 (21.5) %、「やや苦しい」41.4 (44.0) %。
- ・年収は、「301～400 万円」23.2 (24.9) %で最多。「200 万円未満」4.6 (4.5) %、「201～300 万円」が 14.0 (16.9) %と、300 万円以下は合計 18.6 (21.4) %となっています。
- ・仕事・職場で、不満・不安なことは、「賃金が安い」が各年代とも 1 位。
- ・政府に対する要求は、「景気対策」「消費税増税中止」「年金・生活保護制度の拡充」と続いています。
- ・賃上げ要求は、「3 万円」「1 万円」「5 万円」と続き、「平均額」は 3 万 2215 (3 万 3274) 円。

(3) 非正規アンケート※()内は前年

- ・回答者の属性は、「男性」61.3 (52.7) %、「60 代以上」55.9 (45.5) %と、60 代以上の男性が増えている。
- ・週の労働時間は 35 時間以上が 25.2 (22.7) %。仕事の内容は、「正規社員とほぼ同じ」34.2 (39.1) %、「正規社員と全く同じ」33.3 (26.4) %と、67.5%が正社員並みの仕事。
- ・年収は、男性では「200～250 万未満」、女性では「104～150 万未満」が最多。
- ・生活実感は、「かなり苦しい」26.1 (22.7) %、「やや苦しい」45.0 (40.0) %。
- ・仕事や職場への不満や不安では、「賃金が安い」46.8 (48.2) %が 1 位。賃上げ要求は、時給「100 円」26.1 (33.6) %が 1 位。「200 円」17.1 (17.3) %、「400 円以上」17.1 (14.5) %と続いています。

(4) 家計調査

- ・25 回目を迎えた今回の家計調査は、全国で 67 人の方々の協力をいただきました。63%の世帯で生活が苦しくなり、ゆとりある生活には、あと 6 万 8583 円必要との結果になりました。本人分のみ集計を除くと、2015 年の賃金収入は昨年より 1 万 6955 円減りました。消費支出は 1 万 1540 円の減少で、生計費は昨年より 1 万 4185 円低くなりました。賃金収入の合計から生計費を引いた額では 9163 円の赤字です。残業時間は 2014 年より 3.9 時間増えました。残業時間が増え、消費支出を減らし、家計をやり繰りしても、赤字になっていることがうかがえます。
- ・感想集では、20 歳代は「年相応の生活をしたい」、30 歳代は「貯蓄にまわせない」、40 歳代は「消費税 10%になったらますます不安」、50 歳代は「年収が下がり生活が厳しい」、60 歳代は「定年後の収入減が不安」というのが特徴でした。

(5) ライフステージ

- ・ライフステージ別賃金要求(案)は、昨年同様、全印総連家計調査の標準生計費を活用し、全体としてゆとりを排除し、ぎりぎりの生活で試算した理論生計費。住居費は一生借家住まい、子供の学校はすべて公立とし試算しています。

◀5 歳刻み年齢によるライフステージ 別年間支出累計額(賃金要求案) ▶

世帯主年齢 (家族数)	25 歳 (1)	30 歳 (3)	35 歳 (4)	40 歳 (4)	45 歳 (4)	50 歳 (4)	55 歳 (3)
合計	3,660,000	5,652,000	5,407,000	5,828,000	5,988,000	6,762,000	6,820,000